



第二万陽苑から見える医王山

継がれ繋ぐ

理事長 古田 秀一

園内の草木に春の鼓動が感じられる季節となりました。

三月は、期間の長短はあれ、いつも尽して求めず勤めて下さった仲間を送る、辛く寂しく心の重い別れの季節です。尽して下さってありがとう、お支えをいただきありがとうございます、感謝をし、新しい人生をお元気で幸せに歩んでいかれますよう心からお祈りいたします。

来月からの新年度は、利用者の皆様が安全で安心して暮らすことができる快適な環境を整えるため、向陽苑木曳野の竣工に続き、いよいよ本園施設整備五カ年事業の改築工事に着手します。ただ、この事業には多額の投資が必要ですが、事実であり園の経営は大変厳しいものとなりますが、明日の陽風園の姿に思いをいたし、知恵を出し、汗をして、経費の削減と業務の効率化に不断の努力をして参ります。

また、今年には園祖小野太郎翁の百回忌という意義深い年に当たります。四月五日の命日には百回忌法要を営み、記念の事業として、一般の本園施設整備を実施するほか、園祖の墓所、墓碑の改修整備をすでに手懸けておりまして、改めて園祖のお心を偲ぶ良き年になればと願っています。

陽風園に今ある良き歴史も伝統も、時代、時代の求めに呼応し、ここに働く職員が常に新しい営みを加えながら、日々の努力を積み重ねて築いてきたものであります。いつまでも皆様に喜んでいただける福祉の担い手であり続けるため、今後とも時代の要請に敏感に、新しいことにも大いにチャレンジをしながら、園祖の時代から連綿と受け継がれている仁愛の心に充ちた施設づくりを目指し、職員とともに日々励み陽風園を次代へと繋いでいきたいと思っています。

子ども・子育て新システムについて

みずき保育園 園長 宮 本 良 子

「子ども・子育て新システム」とか「幼保一体化」という言葉が出て久しくなります。

一九九〇年の合計特殊出生率一・五七ショック以来、少子化が急速に進み、生産年齢が減少して、社会保障の維持面でも危機感もたれていること、子育てや働き方に対する考え方や制度が時代の変化と共に人々の生活スタイルや価値観に合わなくなっているのも否めません。

そこで国をあげての少子化対策子育て支援施策の基本となるべく施行に向けて、①すべての子どもの育ちを社会の皆で支えるという、子育て支援の理念のもと②働き方を改革し、子育てと仕事の調和を図ることを目指し③何よりも、子どもの健やかな成長を保障することを議論の大前提とし、学識者や様々な分野からの人で構成するワーキングチームを立ち上げ、検討を重ねてきましたが様々な問題が山積しています。

高学歴化や社会参加の意欲の高

まり、働くことを希望する女性が増えています。女性の社会進出は日本社会の経済成長を支えると言っても過言ではなく、保育所が果たす役割は今後さらに大きくなっていきます。ところが安心して子どもを預ける環境の整備が遅れています。都市部では待機児問題が深刻化しており、現に保育所入所に溢れた待機児童の孫の世話に都市部に行っているという人が私の周りに何人かいました。金沢でも地域によっては保育所の入所が難しいところもあります。

また一方幼稚園は文部科学省の所管で幼児教育を提供する施設として、学校教育法に位置づけられ三歳児から五歳児の幼児教育を四時間していますが事実上、専業主婦家庭の子どもしか利用できません。その結果、幼稚園入園希望者は減少の一途をたっています。生き残り策として、四時間の幼児教育後に、預かり保育を実施したり、二歳児の入園も取り入れている幼稚園も増えています。

新システムでは「すべての子どもへの良質な成育環境を保障し、子どもを大切に社会」という観点から幼保一体化が取り上げられています。長年学校教育法の下で幼児教育をしてきた幼稚園と厚生労働省所管でかつては働かざるを得ない家庭の子どもの保育を行う児童福祉法上の施設としての保育所とはなかなか相容れないところがあり進展しないのが現状です。

そこで幼稚園、保育所という施設を無くし総合施設（仮称）を創設する方向に話しが向いてきました。総合施設は満三歳以上児の受け入れを義務付け、標準的な教育時間の学校教育をすべての子どもに保障。そして保育を必要とする子どもには、学校教育の保障に加え、保護者の就労時間等に応じて保育を保障。また、三歳未満児で保育を必要とする子どもには保育を保障するというものです。つまり、すべての三〜五歳児は義務教育化となり四時間なりの授業を受けた後は、保育に欠けない子は帰宅となるが保育に欠ける子は引き続き保育を受けられるということになります。つまり三歳以上児に

関しては午前が幼稚園機能で午後

からは保育所機能ということになります。そうなれば午前の学校教育を受け持つのは、幼稚園教諭の資格が必要となり、学校教育と保育を担う職員として新たに保育教諭（仮称）が置かれることとなり、教諭と位置づけられます。保育士養成校出身の保育士資格のみの職員は三歳未満児の保育を担当することになります。そうすると保育士資格のみの職員の身分が不安定になる可能性もあり、我が園としても行く末が懸念されます。

また、幼稚園の方でも今まで経験のない0歳児の保育やそれに関わる施設の整備などが要求されるなど大変になります。さらに面積基準や人員配置基準などお互いなかなか受け入れがたい問題を抱えています。

新システムはすべての子どもに良質な発達環境を整備することを目指しており、施設の物理的な環境整備に加えて、保育者の人員配置、処遇改善、研修システムの充実など、保育に携わる人々の就労環境の整備があつてこそ保育の質が守られることであり、そのためにも恒久財源の確保は不可欠です。

園だより

陽風園

門松寄贈

陽風園の正面玄関には毎年、年末になると門松が設置されます。この門松は、白山市の西田さんご夫婦がお年寄りに少しでも晴やかに新年を迎えていただきたいと寄贈してくださいます。



ご夫婦で手際良く、松や竹、梅、ナンテン、末広がりの扇形にかたどったシユロの葉をバランス良く組み合せ、差し込んでいきます。高さ約二メートルもある立派な門松が一時間ほどで仕上がります。仕上がった門松を眺める利用者の方々は、「立派や、みごとや、素晴らしい！」と間近に寄って見る方や、一緒に並び、「大きいわ」と高さを実感する姿もあり、満面の笑みを見せ、お正月が待ちどおしい様子でした。

陽風園

新成人を祝う会

一月六日当園では七年ぶりに、新たに大人の仲間入りをした職員二名を祝う会が催されました。

理事長を始め、施設の上司らと約一時間半のひとときは、やや緊張した様子でしたが理事長のお祝いの言葉や励ましの言葉に耳を傾け、和気あいあいた会でした。



そして、園よりこれからの人生に記録をといて思いを込めた記念品「五年日記」が送られました。当園に就職し第一線ですでに活躍



されている二名ですが、これからも今まで以上に利用者の方々の気持ちをよく理解され、この福祉の仕事に誇りを持って益々のご活躍されることを期待しています。

施設だより

万陽苑

新年会・初釜

今年も恒例の新年会を開くことができました。利用者の方と共に新年を迎えることは、大変喜ばしいことです。会では、午前中は、かるたや旗源平、すごろくなど昔ながらの遊びから、正月気分を楽しんでいたできるように企画しましたが、皆さんから笑顔や「楽しいわ」と言った声が自然と生まれ、盛大なものとなりました。



サイコロを一生懸命に念じて転がす人、旗をとってはしゃぐ人、勝利を挙げて歓声をあげる人々。今ではあまり行わない正月遊びですが、日本の情緒を感じ取ることができたように思えます。午後からは、初釜を行いました。職員は、晴れ着姿となり、皆様にお披露目。美人ぞろいの姿に笑みや拍手を利



用者の皆様からいただき、普段とは違う職員を見ていただくことができました。その姿で、お抹茶と生菓子をお手元までお運びすると、「ありがとう」「きれいやね」「おいしいわ」と声を掛けてくださいました。また、職員がお茶を点けると、その様子を興味津々と見ている人や昔お茶の先生をしていた人で、「私も点でてみたい」と言われ、実際にお占前を拝見すると、静粛な趣で、その姿に力強さを感じることができ、私たちは感動させられました。行事を通じて人々が交流を深めていただけることが、なによりと思っています。

陽風園改築計画により、万陽苑も三年後には新しくスタートいたしますが、建物が新しくなっても、これまで同様、人と人とがふれあい、喜び合う場を大切にしていきたいです。

施設だより

ハビリポート若葉・若竹
軽作業班

ハビリポート若葉・若竹の利用者さんの多彩な日中活動の中には農耕班、軽作業班、エコクラフト班やリフレッシュ班など、技術や体力を必要とする作業班があります。今回は最も時間と戦わなければならぬ軽作業班を紹介します。

この班には全利用者の約四分の一以上にあたる五五名の方が所属しており、細かい作業が得意、数えることが好きなど、それぞれの特性を生かした作業を行っています。



荷札の針金や紐通し、紙製ファイルの組み立てなど、いくつかの作業のうちほぼ毎日携わるのは箸作業です。箸作業とは、割り箸を一本ずつ小袋に入れ、十本一束として十組にまとめ、百本あることを確認したうえで専用の袋に詰め込みます。その袋を一箱三千本入る専用の段ボールに入れ、



封をして業者さんに納めるまでが一連の流れになるのですが、時には段ボール二十箱近くになり納期が気になることも...

また、利用者さんが一膳一膳丁寧に仕上げた箸の行く先は、某有名寿司チェーン店や県内外のホテルや旅館、ゴルフ場など誰もが一度は耳にしたことがある有名どころばかり。

しかしながら私たち職員が勝手に感じるプレッシャーをよそに、皆さんはのびのびと楽しみながら短い納入期限の作業もきちんとこなしてくれています。



非常に感心させられるのは、仕事への意欲がとても高いことです。月八回の休日以外は基本的に毎日作業を行うのですが、中には「せんなん仕事あるなら休みなんかいらんわ」という方もいるほどです。どんな仕事の内容であろうと小関係なくすべてが重要なものであることを、身をもって示してくれます。「人の振り見て我が振り直せ」ということわざがあります。利用者の皆さんの熱心さに触れ、もう一度自分を見つめ直して頑張ろうというのを教えられる今日この頃です。

在宅事業推進局

地域マネージメント

超高齢化へまっしぐら「騎馬戦型から肩車型へ」現役世代が高齢者一人を三人で支える時代から一人が背負う形へ、解り易い例え、消費税率アップを目論む人たちは絶好の脅迫記事：業界人として歓迎すべきか？

地域包括ケアシステム、自助・互助・共助・公助、来るべき超高齢社会における厚労省の思い描くデザイン。地域包括支援センターはこのシステムでも中心的な役割を担い、介護予防支援や健康教育・認知症対策・民生委員との連絡等々業務は現在も多岐にわたる。

何かと引き合いに出すのが自身の生まれ育った農村の風景、田植えや稲刈りの農繁期には小学生も駆り出される。学校も半ドン。親戚一同の作業



のどかな田植えの風景!!

一服はアンパンと牛乳、畦道に腰を降ろして世間話。農作業は天候に左右され、雨が降り出すと慌てて干し

てある稲を積み上げ。終わると年寄りか独りでやっている所や女手だけの所を手伝う。冠婚葬祭は村を挙げてのイベント。大黒柱が亡くなった家の農作業には近所が手伝う。我が家でもいつそういう事態が起こるかもしれない「お互いさま」の慣習。野菜や親戚の結婚式の引き出物の「お裾分け」風呂が壊れば、隣で風呂をもらおう、外出は声かけ、年寄りはおちこち井戸端会議、村の家々や親戚のこゝとまで事細かに知っていた。火の用心や廃品回収は子ども会の仕事。地域を実感でき、互助・共助など自然な形で在ったことを思う。隣近所の顔が見え過ぎるくらいで、図らずも子供も年寄りも地域で育て見守る仕組み！水々しい少年時代の風景。

世間では、テレビを見ていても我々の生活には全く影響のない芸能人のプライバシーの話題ばかり！お国の首相も最近によく「共生社会」と連発するが、一昔前に存在したかもしれないそれを、再び取り戻すのはプライバシーや権利をやかましく言う世の中、芸能人のことにしか興味を持たない子供たち：こんな国民に対する「共生社会創造」という国家的マネージメントは、とても遠くて困難な道程！

陽 風 園 日 誌

11 月

12 月

1 月

- 報恩講 (陽風園・第二)
- 衛生講座
- (向陽・万陽・三陽・あけぼの)
- 秋の旅 (万陽)
- 生活給食懇談会 (第三)
- 三陽祭 (三陽)
- 二水高校吹奏楽ボランティア (第三)
- 紅葉ドライブ (第一・木越デイ)
- 文化作品展・示会見学 (万陽)
- 料理教室 (向陽)
- ランチドライブ
- 七五三喫茶 (第二)
- フェスタハビリ2011 (ハビリ)
- りんご風呂 (木越デイ)
- みんなで作ろう食べよう会 (木越デイ)
- 地域清掃ボランティア (三陽)
- クラフト作品作り (木越デイ)
- 卓上献立 (第二)
- 昼食バイキング (木越デイ)
- 菊川・つつじが丘・大桑
- 健康づくり教室 (地域福祉)
- 金沢市長巖末見舞
- 石川県歳末慰問
- 評議員会・理事会
- 新畑ミュージック企画歌謡ショー
- 浅田あきら一座希望の会
- 歌謡舞踊ショーボランティア
- 仕事納めの式 (陽風園)
- 年忘れ会
- ゆず湯
- 終い湯 (各施設)
- クラフト作品作り (木越デイ)
- よい年を迎えよう会 (第三)
- 生活給食懇談会 (三陽)
- クリスマス喫茶 (向陽・万陽)
- 表現会 (みずき)
- X・mas「トナ会」
- クリスマスバイキング
- クリスマス会 (木越デイ)
- サンタクロース喫茶 (第二)
- 十一屋・つつじが丘・大桑
- 健康づくり教室 (地域福祉)
- 西条康夫バラエティショー
- 年頭のあいさつ・仕事始めの式 (陽風園)
- 初湯
- 初釜
- 新年会 (各施設)
- かきぞめ (第二)
- 小中学生との交流会 (みずき)
- ドライブ (向陽)
- お琴の調べボランティア (木越デイ)
- 生活給食懇談会 (万陽)
- 新春書き初め大会 (木越デイ)
- 生活発表会 (みずき)
- ゲーム大会 (万陽デイ)
- 「辰」年干支飾り作品作り
- 癒しの香り湯 (木越デイ)
- デザートバイキング (第二)
- 家族介護者教室 (万陽デイ)
- 菊川・十一屋・つつじが丘・大桑
- 健康づくり教室 (地域福祉)

入園者の変動状況 (11月~1月)

在宅サービス利用状況 (11月~1月)

| 施設名 | 入園者数 (2月1日現在) | 入 所 | 退 所 |
|----------|------------------|-----|-----|
| 向陽苑 | 238 | 5 | 5 |
| 万陽苑 | 179 | 24 | 22 |
| 第二万陽苑 | 147 | 26 | 23 |
| 第三万陽苑 | 140 | 21 | 28 |
| 三陽ホーム | 100 | 1 | 1 |
| ハビリポート若葉 | 165 | 1 | 37 |
| ハビリポート若竹 | 36 | 36 | 0 |
| あけぼの作業所 | 43 | 0 | 0 |
| みずき保育園 | 175 | 2 | 0 |
| 合 計 | 1,223 | 116 | 116 |

| 施設名 | 事 業 | 延人数 |
|----------|----------------------|-------|
| 万陽苑 | ショートステイ | 382 |
| | デイサービス | 1,045 |
| | ホームヘルプサービス | 600 |
| | 配食サービス | 290 |
| 第二万陽苑 | ショートステイ | 621 |
| | ホームヘルプサービス | 278 |
| 第三万陽苑 | ショートステイ | 1,313 |
| | デイサービス | 571 |
| ハビリポート若葉 | ショートステイ | 31 |
| | 日中一時支援 | 2 |
| | グループホーム知的障害者共同生活援助事業 | 1,380 |
| 在宅事業推進局 | 陽風園生活支援センター | 825 |
| | お年寄り地域福祉支援センター | 738 |
| | センターみつちしんまち | 1,353 |
| | 木越デイサービスセンター | 941 |
| | 木越生活支援センター | 144 |

感謝録

11月～1月

(順不同・敬称略)

ボランティア

- 末日聖徒イエスキリスト教会 (金沢市)
- PL金沢教会 (金沢市)
- 歌のあすなろ会 (金沢市)
- 上野保育園 (金沢市)
- 新畑ミュージック企画 (金沢市)
- 石川県警察学校 (金沢市)
- 浅田あきら一座希望の会 (金沢市)
- お琴の調べ (金沢市)
- 犀川保育園 (金沢市)
- 葉月の会 (金沢市)
- 合歓の会 (金沢市)
- あおいの会 (金沢市)
- 石川県立金沢二水高等学校吹奏楽部 (金沢市)
- 西条 康夫 (金沢市) 高窪千寿子 (金沢市)
- 村尾 和子 (金沢市)

寄附物品の部

- 日本たばこ産業(株) (金沢市)
- 北陸電力集金検針労働組合女性委員 (金沢市)
- はなの木薬局 (金沢市)
- 多田菓子店 (金沢市)
- 大鋸本店 (金沢市)
- (株)丸菱 (金沢市)
- J A 石川県女性組織協議会 (金沢市)
- 美川婦人会 (白山市)
- めぐみ保育園 (金沢市)
- 金本 延子 (金沢市) 西田 将機 (白山市)
- 北村ちさ子 (金沢市) 北川 芳子 (金沢市)
- 北陸電力集金検針労働組合女性委員 (金沢市)
- 菊川社会福祉協議会 (金沢市)

寄附金の部

- 清都嘉津子 (金沢市) 坂下外志枝 (金沢市)
- 辻 トシ子 (東京都) 河上 進 (金沢市)
- 山本外喜子 (金沢市) 末田佐智子 (金沢市)
- 舟見 春恵 (加賀市) 浅田 (金沢市)

その他匿名 二十四名

ご厚意ありがとうございました。



完成間近向陽苑木曳野